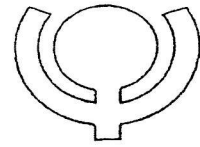


一般社団法人 高知県子ども会連合会



高子連だより

No.6 1

平成28年2月26日発行



アソブンジャー講習会 (ジュニア・リーダー講習会)

高知県子ども会連合会定時総会を開催しました

平成27年6月21日の高知県子ども会連合会定時総会で、理事・監事選任議案が承認され決定しました。



平成27・28年度 一般社団法人 高知県子ども会連合会役員名簿

役職	氏名	所属部
相談役	横川 遊亀 壽	
	池上 隆一	
	山中国 保	
	西内 昭男	
	小倉 卓	
会長	杉村 高晴	
副会長	前田 良二	安全教育部 長
	森下 幸則	事業部 長
	小谷 正治	研修部 長
	陰山 加代	広報部 長
	土居 晃	総務部 長
理事	近森 春樹	研修部
	宗圓 幸司	広報部
	坂本 守正	事業部
	古谷 雅之	事業部
	緒方 正綱	安全教育部
監事	吉永 宣生	総務部
	平山 佳志美	
監事	尾崎 和敏	

高子連専門員

氏名	住所	備考
安岡 雄三	安芸市	委員長
谷地森 秀二	須崎市	
山崎 功一	高知市	
木下 洋一	香南市	
加藤 用子	高知市	
小谷 正治	香南市	

高子連表彰選考委員

氏名	住所	備考
西内 昭男	吾川郡	委員長
小倉 卓	高知市	
小田切 泰禎	高知市	
野島 利和	香南市	

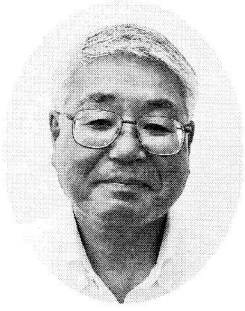
各部委員

総務部	安全教育部
土居 晃 (部長)	前田 良二 (部長)
吉永 宣生	緒方 正綱
藤岡 和子	広報部
栗原 純子	陰山 加代 (部長)
研修部	宗圓 幸司
小谷 正治 (部長)	事業部
近森 春樹	森下 幸則 (部長)
	坂本 守正
	古谷 雅之

高知県子ども会連合会 賛助会員 (順不同)

会員名	
(株) サニーマート	(医) 仁生会 細木病院
ひまわり乳業(株)	(有) 三代目 竹内石材
高知電気建設(株)	(一社) 高知県建設業協会
西富 騰写堂印刷	池上 隆一
(有) 西村 騰写堂	山中国 保
(一社) 高知県山林協会	西内 昭男
(医) レザレクト 藤川クリニック	





会長あいさつ

(一社) 高知県子ども会連合会

会長 杉村 高 晴

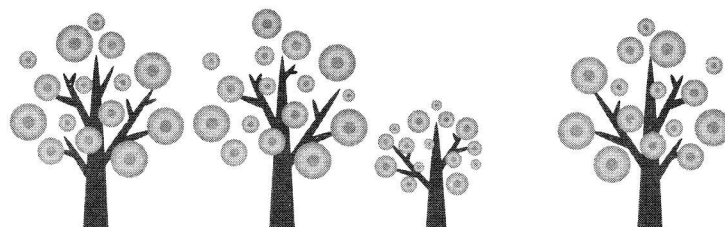
平成27年度定期総会において、会長を務めることとなりました杉村高晴と申します。よろしくお願いいたします。西内前会長からバトンを引継いだ訳ですが、一般社団法人となって実施すべき課題や問題が多く責任の重大さを痛感しております。

定期総会においてご審議いただいた「会費の値上げ」について、前会長や執行部は県下を二度巡回し、値上げに対する考え方や各市町村子連の実態を踏まえ、また、会費検討委員会の答申も加味しながら、理事会の承認を得て総会にお計りしました。

しかし、主旨や考え方が出席の会員や代議員の皆様方に周知されていなかったことを感じました。総会終了後新体制で正副会長会や理事会を開き、各市町村子連事務局を通じ各代議員の皆様方に会費値上げの主旨や考え方を改めて送付させていただきました。お金がなくなり一足飛びに会費を値上げすることのないよう、預金のある今のうちに一定の蓄えをしておきたいと考えています。ご理解をお願いします。

あと一点。高子連が主催するジュニア・リーダー主体のアソブンジャー・トレーニングセミナーや指導者・育成者研修会、K Y T 初任者講習会を開催するご案内を事務局から各市町村子連事務局を通じて差し上げていますが、参加者が少ない状況が続いています。会費審議の意見の中に「PR不足だ」「高子連の動きがわからない」などがありましたが、高子連事務局は締切り後も各子連事務局に何度となく参加者の掘り起こしをお願いしています。研修会等への参加がなければ会員としてのメリットは生まれません。

高子連は会員あつての組織であり、役員のためのものではありません。未来を担う子どもたちの健全育成を願い、各単位子ども会や市町村子連の活性化が大切です。連合会として実施すべき役割や仕事を正しく判断し、情報を共有しながら事業を遂行してゆく所存ですので、会員の皆様方の積極的な参画とご支援・ご協力を切にお願いし、会長就任のあいさつとさせていただきます。





退任あいさつ

西内 昭男

県下各地域で、子ども会の指導育成に活躍いただいております会員の皆様、ご苦労でございます。私事、26年度を持ちまして会長を退任させていただきました。6年間に亘りご支援、ご協力いただきましたことに対し心から感謝を申し上げたいと思います。

さて、6年間にはいろいろな事業や課題がありました。22年1月には高知県子ども会連合会創立40周年記念行事の開催、また11月には第41回中国・四国地区子ども会育成研究協議会の開催、26年8月には中国・四国ジュニアリーダー大会の開催、このような大きな事業に力不足の私を皆さん一丸となつて、ご支援ご協力いただき何とか盛大に無事に実施できましたこと、誠に皆様方の子ども会発展を願う力の大きさに感謝をしたことでした。

また、法人法改正に伴う新法への移行の事務作業、全子連は公益法人に、高知県は一般社団法人に移行することになり、事務手続きの研修会や検討委員会を立ち上げての定款変更の検討を重ね、まず正会員を市町村会長より単位子ども会とし、高子連を身近に感じていただくこととしました。

また、全子連安全会（共済制度）は改正保険業法に抵触するとの国からの指導により制度の変更（安全共済会）が行われました。この共済制度の保障内容が充実されましたので、高知県子ども会安全会を廃止し、この財源を有効理由する方策を検討いたしました結果、このような事業や行事の事務作業が複雑さや繁忙を伴うために、事務局体制の充実強化に向けて、常勤の職員の雇用をすることとしました。以上のようにここ数年の間に高子連体制も大きく変化をいたしました。

しかし“子どもの社会生活に必要な特性の涵養及び子どもの健全育成に寄与すること”要は地域の子どもは地域で育てる、この姿勢に何の変更もございません。是非、地域の皆様が手を結び絆を深めて子どもたちを心も体も健全に育てて欲しいと思います。子どもたちには“生きる力”“ともに生きる力”“心豊かに生きる力”を付けさせましょう。そう言った子どもを育てるためには地域で子どもを育てる子ども会指導者、育成者自身も力を付けなければなりません。そのために研修の場を設けました。これからはぜひ、機会を見つけ参加をして欲しいと思います。

また、中学・高校生を対象として、“アソブンジャー・トレーニングセミナー”を実施いたしましたが、参加者が少なく苦慮しました。高子連発展のためにも若い年少指導者は必要です。地域で手伝ってくれそうな中学・高校生を見つけ育てましょう。このような地域活動の充実により、地域の絆も深まり子どもたちも自分の育ったふるさと、地域を大切にしてくれると思います。終わりにになりましたが自分たちの組織は自分たちで運営、活動するという基本があります。皆で会費を持って定例会に集まろう。そして集会をし、育成者・指導者の指導の下、皆で楽しい活動を勧めましょう。新しい制度の会費が実施されます。是非、ご理解の上ご協力をお願いいたします。地域の皆で手を取り合っ子ども会活動をご自愛のうえ、是非、頑張ってくださいますようによろしくお願いし退任の挨拶といたします。

平成27年度運動方針

子ども会で地域の絆を強めるために

私たち高知県子ども会連合会（以下「高子連」という。）は、一般社団法人として歩み始めました。創立以来46年間、県下各地域に子ども会活動の普及促進に努めてまいりましたが、子どもを取り巻く社会環境の大きな変化により、少子化や子どもたちが自然の中で遊ぶ体験、人との関わりの中で学び成長し生きる力を養うことが乏しくなってきたといわれております。

このような状況下で子ども会とは何かを深く認識し、時代に見合った活動を進めなければなりません。私たち高子連は「子どもは地域で育つ」を基本理念に地域の子どものを守り育て、また社会教育向上の取り組みを続けてきました。今こそ私たち大人は、子どもの成長を助け指導をする上で何が必要かをしっかりと心に刻み、子どもたちに心も体も健全な「生きる力」・「ともに生きる力」・「心豊かに生きる力」を育てなければなりません。そのためには、地域の皆が手を組み子ども会活動を充実しなければなりません。

私たち高子連は、県下子ども会の連合体としての役割を果たすために「地域の子どもは地域で育もう」を目標に、自然体験や社会体験を充実させ、今こそ「子ども会活動の振興・活性化」を図ります。この目標を達成するためには、育成者や指導者・年少指導者などの人材の確保、養成が必要です。そのためには、皆様方会員同志の地域の絆が大きな原動力となります。ぜひ、定例会を行って話し合いの場を増やしてください。子ども会は自分たちの会です。自分たちの力で運営をしてゆきましょう。そのための財源の確保に努めましょう。高子連も財政基盤の確立が大きな課題です。財政の確立を強化し、組織の充実を図らなければ大きな危機に陥ります。ぜひ、会費の検討をお願いいたします。子ども会の活性化のために取り組みを強めます。

平成27年度事業計画

1 ジュニア・リーダー及びシニア・リーダー（アソブンジャー「年少・青年指導者」）の養成

- (1) 子ども会活動をささえるアソブンジャー養成のため研修計画を充実し、講習会を開催します。
- (2) シニア・リーダーズの活動活性化のため組織強化を図るとともに、市町村間の交流や事業に参加支援をします。また、他団体および全国子ども会連合会の開催する講習会に参加させ、資質・技術の向上を図ります。

2 指導者や育成者の研修・養成支援助成

- (1) 子ども会の指導者・育成者や行政・学校関係者、また民生委員・児童委員など子どもに関わる関係者の研鑽のための広報活動に努めます。

- (2) ブロック育成研究会や指導者の研修事業に対する支援と助成をします。
- (3) 全子連、中国・四国地区子連主催の講習会及び研修会への参加助成をします。
- (4) 「高知県子ども会連合会指導者認定要項」により高子連指導者として認定するとともに、全子連集団指導者の認定を推進します。
- (5) 専門委員会の答申内容をよく検討し、実施に向けて取り組みます。

3 安全教育の推進

- (1) 安全教育を推進するために「KYT指導者養成講習会（初級）」を県下3会場（西部・中部・東部）で開催し、単位子ども会に1人の認定指導者を確保し子どもの安心安全活動に取り組みます。
- (2) 子ども会活動中の事故に備え、全国子ども会安全共済会（PTA青少年教育団体共済法）に会員・育成会員全員の加入を目指します。
- (3) 子ども会指導者・育成者傷害保険（任意）の加入促進を図ります。

4 広域的交流活動の展開

- (1) ブロック活動の支援と援助
市町村子連間の交流の輪を広げるため、ブロック単位で創作活動大会の開催をすすめ、そのための支援と経費の助成を行います。
- (2) 緑の少年団活動の推進
「(公社)高知県森と緑の会」と連携を図りながら、自然体験活動をすすめるとともに緑化推進事業に取り組みます。
県下全体の交流活動大会として「緑の少年団大会」を実施し、活動活性化を図ります。
- (3) 他団体との共同事業の推進
子ども会活動と共通の目的を持つ団体との活動を推進します。

5 財政基盤の確立

- (1) 財政基盤の確立のために、収益事業の調査、研究を行います。
- (2) 会費検討委員会の答申を踏まえ、会費の見直しを行います。

6 高子連機能の活性化

- (1) 正副会長会の開催
高子連運営の円滑化を図るため毎月正副会長会を開きます。
- (2) 理事会の開催
高子連運営充実のために適宜、理事会を開きます。
- (3) ブロック運営会議開催の支援
ブロック組織を確立し、市町村子連相互の連携と子ども会活動の広域的交流を図るために、ブロック運営会議開催の支援と経費の助成を行います。
- (4) 専門委員会の開催
高知県子ども会連合会が抱える諸問題に対し意見を求めるために専門委員会を開催します。

(5) 部会の開催

総務部・広報部・安全教育部・研修部・事業部及びシニア・リーダーズの部会を開催し活動をすすめます。

① 総務部

- 県教育委員会と連携し、市町村や関係団体の協力を求め未加入子ども会の加入促進を図り、組織の拡大に努めます。
- 総会・理事会等の各種の会議の円滑な運営並びに各部の調整に努めます。
- 「全国子ども会安全共済会」制度変更に伴う事務手続き、「一般社団法人」に関する、官公庁への手続き等を円滑に行います。

② 広報部

- 組織拡大と活動活性化のために「高子連だより」を発行し情報提供を行います。
- 各種情報提供のため、全子連ホームページに加入し内容の充実に努めます。

③ 安全教育部

- 「KYT指導者養成講習会（初級）」認定講習会を計画、開催し認定事務をすすめます。
- 市町村子連より要請があれば研修会に講師を派遣します。
- 部員は安全教育部推進と講師派遣の依頼に備え研鑽に努めます。

④ 研修部

- 部員は、各種研修会に参加し技術・資質の向上に努めます。
- 指導者・育成者・アソブンジャー（年少・青年指導者）の研修を推進し子ども会活動関係者の資質・向上に努めます。

⑤ 事業部

- 収益事業の調査・研究を行います。
- 緑の少年団大会を計画・実施し、子どもたちの自然体験活動を進めます。
- 「(公社)高知県森と緑の会」と連携し、春と秋の募金活動を行います。

⑥ シニア・リーダーズ

- 全国子ども会連合会主催による「シニア・リーダー研修会」に部員を派遣します。
- アソブンジャー（年少・青年指導者）の育成に努めます。

(6) 会長・事務担当者会の開催

市町村子連の会長や事務担当者の交代に備えて、会長・事務担当者会を開催し、高子連・市町村子連相互の連携を図ります。

また事務手続きなどの円滑化を図るために規程・要項など基本的事項についての周知徹底を図ります。

7 全国子ども会安全共済会（PTA・青少年教育団体共済法）への取り組み

会員及び市町村に対し周知徹底を図り、全員の加入促進を図ります。

8 その他の取り組み

(1) 各種募金への取り組み

(2) 伝承芸能・伝統行事への参加

子ども会活動の中に、各地に伝わる芸能・伝統行事を次の世代に伝承する取り組みをすすめます。

各 行 事 報 告

第43回中国・四国地区子ども会ジュニア・リーダー大会

- 【場 所】 鳥取県立大山青年の家
【日 程】 8月21日～23日
【参加者】 副会長2名 ジュニア・リーダー4名 計6名
【目 的】

日頃、各地区子ども会で活躍している中国・四国地区子ども会のジュニア・リーダーが一堂に集い、お互いの理解と友情を深めながら、自分たちの力で課題を解決することで力をつけ、その役割や責任を問いかけ、資質の向上を図ることで「子どもの手による子ども会」活動の一層の充実をめざす。



全国子ども会連合会 設立50周年 記念式典

(第49回全国子ども育成中央会議・研究大会)

- 【場 所】 群馬県渋川市 ホテル小暮
【日 程】 10月17日～18日
【参加者】 約600名
【開催趣旨】



前項子ども会連合会が社団法人として設立許可された当時、昭和40年8月（1965）、わが国の各地に異年齢の徒党を組む子ども集団が存在していた。

しかし、近年、世界全体が急速に変化しており、わが国も例外ではない。

グローバル化が進展する中であって、わが国の子どもたちは、世界の国々と貿易を通して、学術・文化・スポーツの交流を通して国を支え、発展させていかなければならない。

国境を越えて互いに理解しあい、対話や協同的なコミュニケーションを強化するためには、ありきたりの社会性ではなく、柔軟で「しなやかな社会性」を身につけることが要請される。

設立50周年記念式典に臨み、「異年齢集団」を活動の基本に据えてきた子ども会活動の歴史を振り返るとともに、子どもたちが元気な声を取り戻し、ただしいものの見方、偏りのない社会態度や習慣を身につける活動が、創意・工夫を重ね、末永く継続することを誓い合う機会としたい。

第46回中国・四国地区子ども会育成研究協議会

【目的】

本年5月、総務省が発表した15歳未満の子どもの推計人口は、前年より16万人少なくなり、比較可能な統計上で過去最少を更新しました。そうした社会全体が抱える課題とともに、子どもたちを取り巻く環境は、いじめや不登校といった問題など複雑化し、深刻化しています。

このような時代に、子どもたちにとって何が必要なのか。アメリカの社会学者レイ・オルデンバークは、豊かな社会生活には「第1の場（家）」「第2の場（学校）」に加え、地域の多様な住民が交流する「第3の場」が重要だと指摘しています。子どもたちにとって、ありのままにいられる「第3の場」こそ、子ども会と言えるでしょう。大人たちが子どもの輝きを見つけ、伸ばす。様々な役割を与える。子どもたちは地域社会の中で役に立てる、との実感が自信につながります。

また、教育とは「共育」とも言われます。大人も共に成長し、共に前進することが大切だと思います。

そこで、今回は「かかわり合う子ども会～人とのかかわりを大切に～」をテーマに自由闊達に協議し、これからの子ども会活動の新たな一歩を踏み出す機会になればと願っています。

【テーマ】 かかわり合う子ども会～人とのかかわり合いを大切に～！

【期 日】 平成27年11月14日～11月15日

【会 場】 岡山ロイヤルホテル

第40回高知県子ども会育成大会（高知大会）

【目的】

子どもたちを取り巻く社会情勢が変革する中で、私たち子ども会が、次代を担う子どもたちの安全確保や健全育成、さらには地域づくりに果たしてきた役割は非常に大きいものがあります。

そして今、いじめや不登校、子どもへの虐待など心が痛む深刻な事件が毎日のように報道されています。「地域の子どもは地域で育む」をスローガンとして活動する私たち子ども会の重要性は、益々高まり期待も大きくなっています。

このような事態を踏まえ、限られた時間ではありますが、講演や実技、交流を通じて「地域の子どもを育む子ども会の使命」「指導者・育成者の力量アップ」という視点の下に、子ども会の持つ素晴らしさや課題を共有しながら、明日に生かせる取組みを学び合ひましょう。

【期 日】 平成28年1月17日

【会 場】 高知青年センター アスパルこうち

【プログラム】

講 演（10：30～12：00）

講師：五台山 竹林寺住職 海老塚 和秀氏

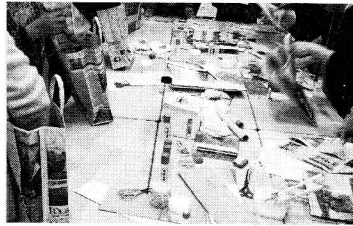
演題「ボランティアて なんぞや!!」



分科会（13：00～16：00）

（日々の子ども会活動に生かせる分科会）

- ① 救急対応処置の仕方
- ② エコバック作り
- ③ 万華鏡



【平成27年度 表彰】

高知県子ども会連合会会長表彰被表彰者

○ 指導者

久田和子（高知市） 耕崎久（南国市） 氏川桂（高知市）

○ 育成者

池内晶子（安芸市）

中国・四国地区連絡協議会表彰被表彰者

○ 指導者

三谷勉（南国市） 清遠みか（安芸市）

○ 育成者

久保尚（安芸市）

○ 感謝状

西内昭男（高子連）



岡崎高知市長

全国子ども会連合会表彰被表彰者

○ 指導者

香川友理子（高知市） 平山佳志美（香美市）

○ 団体（子ども会）

川北連合子ども会（安芸市）

○ 感謝状

西内昭男（高子連）

社会教育功労者表彰被表彰者

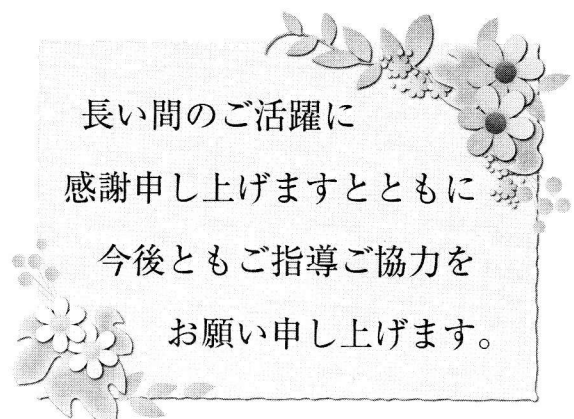
○ 青少年教育・ボランティア活動

山本元子（高知市）

高知県知事表彰被表彰者

○ 青少年育成民間奉仕者

岡本國男（高知市）



緑の募金

【春の募金活動】

4月19日 中央公園北口とひろめ市場前の2カ所で行われました。

安芸市子連4名 南国市子連3名 いの町子連15名の子どもたちが参加をし、街頭募金に協力してくれました。



【秋の募金活動】

10月10日 中央公園で緑の募金活動が行われました。

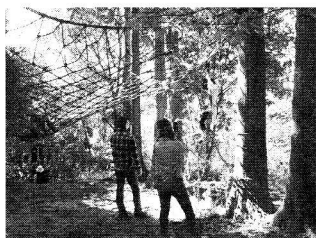
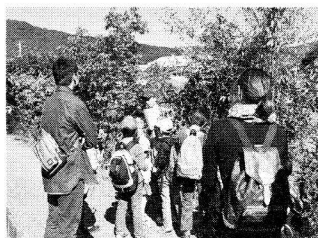
高知市子連より4名、いの町子連より4名、南国市子連より1名の子どもたちが参加をし、街頭募金に協力してくれました。皆さん、お疲れ様でした。



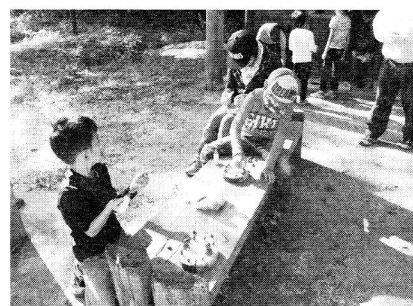
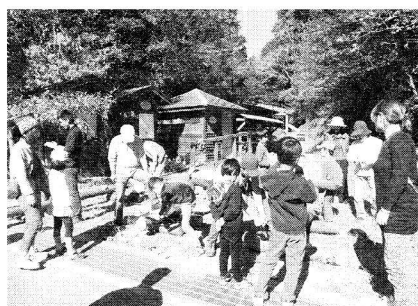
第17回緑の少年団大会

10月25日 緑の募金活動事業である「第17回緑の少年団大会」が香美市土佐山田町大平の森林センター情報交流館で21名の親子の参加があり開催されました。

自然体験ゾーンへの道中では、木の名前や食べられる実などを教えていただき、自然体験ゾーンでは、巨大ハンモック、ツリーハウス、ロープ渡りを楽しみました。炭小屋前では、竹を割りナイフで削りお昼に使う箸作りをしました。



昼食後は、丸太切り体験をし、ドングリや木の枝などを探して壁掛けなど、みんな思い思いの物を作りました。晴天にも恵まれ楽しい体験が出来ました。



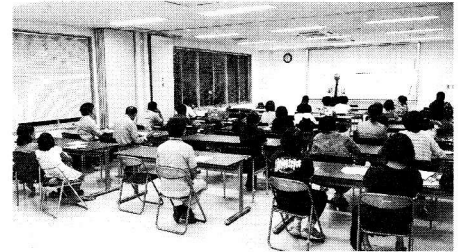
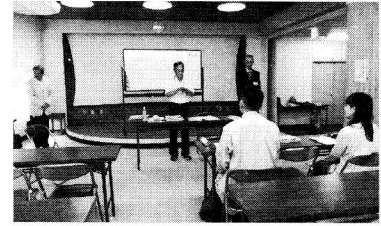
K Y T 初級指導者養成講習会

6月14日に野市の青少年センター、9月6日にふくし交流プラザで行われました。

11月8日には初級認定講習会・実技テストを行い、3名が初級指導者として認定されました。

又、9月10日には、安芸市子連理事会において（育成者含む）、安全教育部長前田良二氏による“K Y Tを含む子ども会とは”と題して講話をいただきました。28名の熱心な参加者と充実した時間を過ごしました。

県子連では安全教育推進のため、各単位子ども会に1人以上のK Y T 認定指導者を置くことを目指し、県下で講習会を開催しています。また「全国子ども会安全共済会」には会員全員の加入促進を図り、安全・安心の子ども会を目指します。

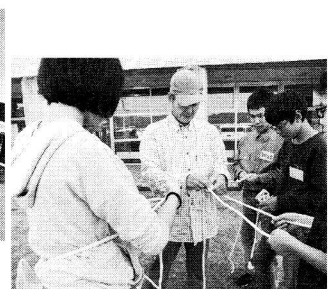


アソブンジャー講習会

11月21日、22日にアソブンジャー講習会（ジュニア・リーダー講習会）が香南市夜須中央公民館で開催されました。5名のジュニア・リーダーが参加、内3名が初めての参加でした。

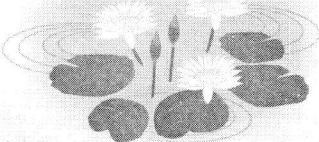
1日目の午前中は、「子ども会とは」と題しての講義、キャンドルサービスの方法など子ども会の基礎を学びました。午後からは、実技講習としてロープワーク、竹を使つての箸作りなどを体験しました。

2日目は、ゲーム研修として色々なゲームを体験しました。



過日、高知県子ども会連合会
元会長 山中 國保様が、ご逝去
されました。

謹んでご冥福をお祈りいたし
ます。



（一社）高知県子ども会連合会

事務局所在地

〒780-0870 高知市本町4丁目1番37号

丸ノ内ビル3F

高知県社会福祉協議会分室内

☎ 088-855-5481 FAX 088-855-5481

編集 広報部 陰山・宗園

発行責任者 会長 杉村高晴